

防犯マニュアル

放課後等デイサービス ship☆now

1. 防犯に関する基本方針

- ・事業所における防犯の具体的な方法や役割を明確にし、防犯体制を確立する。
- ・保護者や家族・地域が一体となった防犯体制により、地域全体で利用児を守る意識を高める。

2. 日頃から不審者の侵入防止の為に備えて安全対策を行う。

（1） 日常の防犯にすること

① 安全管理体制や施設整備の整備・安全点検

- ・受付（事務室）にて、来訪者を確認する。
- ・来訪者の ship☆now 入り口、動線を明確にしておく。

② 通所経路の設定・安全点検（危険箇所の把握）

- ・入り口付近に、防犯対策による看板・案内の看板を設置する。
- ・防犯カメラの設置（存在が解る表示をする）
- ・敷地・施設内外の巡視を行う。
- ・玄関の施錠を確実に行う。（出入りごとに施錠）

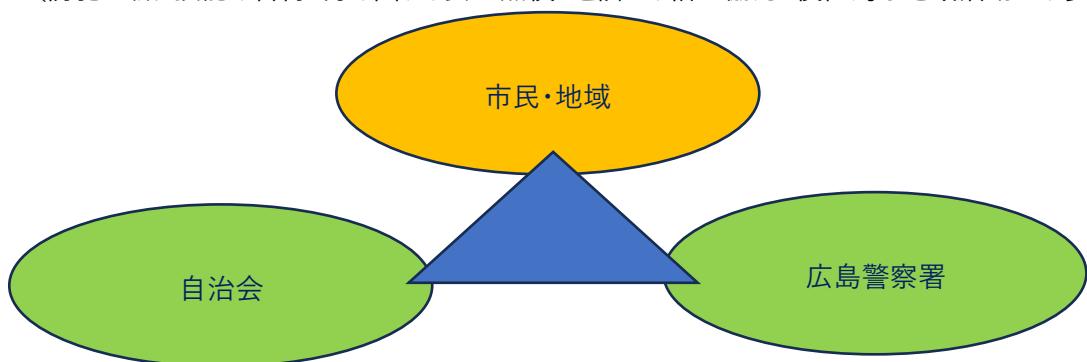
担当者、点検者等の役割分担

業務	担当
施設区画安全点検	担当
安全衛生点検・巡視	担当

③ 保護者や家族、地域、関係機関等との連携体制

- ・家族、地域、関係機関が一体となった利用者の安全のための不審者情報等の情報ネットワークづくりに努める。

(防犯知識・技能の習得・身の回りの安全点検・近隣との相互協力・積極的な地域活動への参加)



- ・危機管理に関する指導助言
- ・地域安全情報の提供
- ・防犯に配慮した施設整備
- ・地域自治体への支援
- ・関係機関との連絡調整
- ・取り締まり活動の強化

【連携を深める】

○開かれた施設づくりに努め、地域との信頼関係を築こう。

地域で取り組まれている行事やボランティア活動、清掃活動、あいさつ運動など、安全で安心な社会に欠かせない活動に進んで参加協力し、貢献していくことで、地域等との相互協力関係を構築していく。

④ 安全教育・研修・訓練に関するこ

- ・利用児の障害特性に応じた個別支援計画

- ・職員、保護者や家族、ボランティア等の研修

- ・防犯訓練及び検証

3. 緊急時発生時の対応

(1) 対応手順・役割分担

- ・日頃から緊急事態に備えた役割分担や方法など体制を整えておく

【不審者侵入時の役割分担】

役割	担当
1. 全体指揮・外部との対応	(管理者)
2. 保護者への連絡	(児童発達管理責任者)
3. 避難誘導・安全確保	
4. 不審者への対応	
5. 応急手当・医療機関等	
6. 電話対応・記録	
7. 安否確認（全体・施設内外巡視）	

(2) 関係機関電話番号・通報文例（110番・119番）

« 110番通報の要領 » 110番通報をすると次のことを質問されます。落ち着いて、はっきりと答えましょう。

① 110番警察です。事件ですか？事故ですか？

「不審者の侵入です」

② いつ？

「今！」「5分前！」など

③ どこで？

「広島県西区楠木町 放課後等デイサービス ship☆now です。」

④ 犯人は？

犯人の人数、服装、凶器の有無、車のナンバーなど

⑤ どうなっていますか？ けが人はいないが、被害者はどうしているかなど

⑥ あなたは？

通報者の氏名、電話番号など

※通報の際、自身の身の安全を確保し、不用意に犯人に近づかないようにしてください。

« 119番の要領 »

① 種類 救急です。

② 場所 住所は、西区楠木町 4-19-7-4F 放課後等デイサービス ship☆now です。

③ 近くの目印は、八谷建設本社の建物です。

④ 通報者 私は、ship☆now の〇〇です。電話番号は、082-555-1544

⑤ 被害状況 負傷者は○人です。

負傷者の容態は○○の状態です。

※傷病者の状態を聞かれたら簡潔に伝える